

株主の
みなさまへ

通期 株主通信

第148期 | 平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで

工業用薬剤の
トップ企業として、
京都から世界と未来へ
こたえる。

チャレンジ100計画
CHANGE 100
2024-2033

こたえる、化学

 **第一工業製薬**
DAI-ICHI KOGYO SEIYAKU CO.,LTD.

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに第148期の通期株主通信をお届けし、当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

当期における当社グループの業績は、売上高につきましては、年度末では持ち直しましたものの東日本大震災やタイの洪水などの自然災害の影響や、深刻化した欧州債務問題などにより、総じて需要は減退しましたが、地球環境保護の動きに対応した電子部品材料用途の導電性ペーストなどの『電子デバイス材料』は顕著に伸長しました。また、従来、持分法適用関連会社であった四日市合成(株)の株式を追加取得し、新たに連結の範囲に含めましたことにより、『界面活性剤』の売上高も顕著に伸長しました。その結果、当連結会計年度の売上高は562億49百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

損益面につきましては、急激な需要の減退に加え資源価格が高水準で推移し利益を圧迫しました結果、営業利益は20億33百万円（前年同期比25.6%減）となりました。また、円高による為替差損の発生などもあり経常利益は17億42百万円（前年同期比28.6%減）となりました。当期純利益は投資有価証券評価損や減損損失などにより1億65百万円（前年同期比85.7%減）となりました。

なお、個別決算につきましては、遺憾ながら1億50百万円の当期純損失となりました。

期末配当金につきましては、将来の事業展開に必要な内部留保金との整合を図りつつ、株主のみなさまへの長期的、安定的な配当を維持することを基本方針としておりますが、当期業績及び今後の事業環境を勘案して、1株当たり7円とさせていただきます。

当期は、創業百周年の平成21年から始まった中期経営計画『チェンジ100計画』、ステージⅠの最終年度でした。企業体質の転換を図ろうとした3年計画でしたが、相応の成果を経営指標に残しました。この3年間で築いた収益構造を基盤として、当社は、本年4月から新計画『チェンジ100計画』、ステージⅡ「収益を伴う拡大」をスタートさせました。新計画につきましては、7～8頁でご説明しておりますので、ご参照ください。

株主のみなさまにおかれましては、引き続きご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



平成24年6月

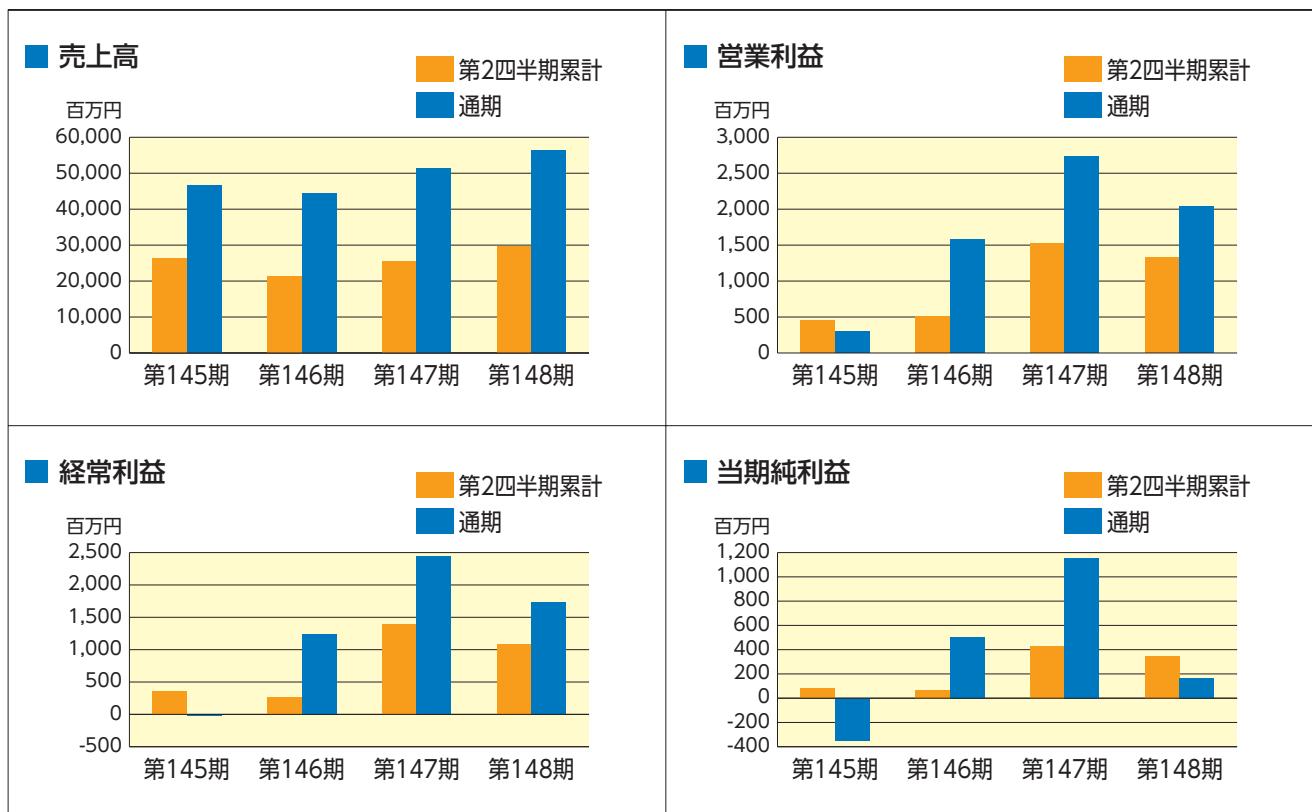
代表取締役社長執行役員

大柳 雅利

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日	当連結会計年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	前年同期比増減
売上高	51,245	56,249	5,004
営業利益	2,732	2,033	△ 699
経常利益	2,439	1,742	△ 696
当期純利益	1,155	165	△ 990

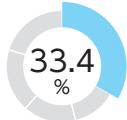
注. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しています。



界面活性剤事業

ゴム・プラスチック、生活関連産業、繊維、エネルギーなど、多様な分野で貢献しています。

売上高構成比



売上高

187億79百万円

前年同期比 24.1%増 ↑

界面活性剤は、ゴム・プラスチック用途の大幅な伸長や、四日市合成(株)を連結の範囲に含めたことによる石鹼洗剤用途の顕著な伸長により、総じて顕著に伸長しました。

アメニティ材料事業

ショ糖脂肪酸エステル、カルボキシメチルセルロースナトリウムなどを取扱い、食品、医薬・化粧品など生活分野で幅広く使用されています。

売上高構成比



売上高

72億20百万円

前年同期比 2.5%増 ↑

アメニティ材料は、国内ではセルロース系高分子材料のトイレタリー用途が順調に、海外ではショ糖脂肪酸エステルが食品用途を中心に好調に推移し、総じて好調に推移しました。

ウレタン材料事業

塗料、土木・建築材料、電気絶縁材料などの工業用素材やウレタン用原料として使用されています。

売上高構成比



売上高

86億34百万円

前年同期比 1.5%減 ↓

ウレタン材料は、東日本大震災に起因して、重防食塗料用途が低調に推移し、建築用材料やクッション用途はやや低迷し、総じてやや低迷しました。

機能材料事業

家電や住宅などに使用されている合成樹脂や環境改善に役立つ製品として、ポリウレタン水分散体、難燃剤などを提供しています。

売上高構成比



売上高

102億28百万円

前年同期比 10.6%減 ↓

機能材料は、国内では難燃剤のデジタル家電用途が顕著に落ち込み、海外では光硬化樹脂用材料がやや低迷し、総じて大きく落ち込みました。

電子デバイス材料事業

導電性ペースト、セラミックス材料、リチウム電池などを開発し、製造・販売しています。

売上高構成比



売上高

113億86百万円

前年同期比 28.5%増 ↑

電子デバイス材料は、電子材料用途の導電性ペーストが顕著に伸長し、射出成型用ペレットも順調に推移したことにより、総じて顕著に伸長しました。

（単位：百万円）

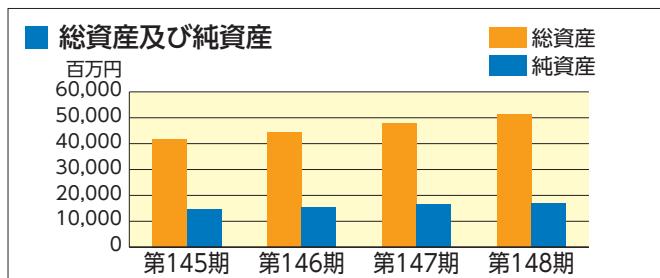
科 目	当連結会計年度 平成24年3月31日現在
資産の部	
流動資産	28,265
固定資産	23,091
有形固定資産	18,995
無形固定資産	505
投資その他の資産	3,591
資産合計	51,357
負債の部	
流動負債	24,617
固定負債	9,789
負債合計	34,407
純資産の部	
株主資本	16,893
資本金	7,141
資本剰余金	5,470
利益剰余金	4,478
自己株式	△ 197
その他の包括利益累計額	△ 772
その他有価証券評価差額金	△ 479
繰延ヘッジ損益	0
為替換算調整勘定	△ 293
新株予約権	13
少数株主持分	814
純資産合計	16,949
負債純資産合計	51,357

注. 百万円未満の端数は切り捨てて表示しています。

POINT 1 総資産は、前期末と比べて36億15百万円増加し、513億57百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券は減少しましたが、従来、持分法適用関連会社であった四日市合成(株)の株式を平成23年4月1日に追加取得し、新たに連結の範囲に含めましたことなどにより、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品などのたな卸資産、並びに建物及び構築物などの有形固定資産が増加したことなどによるものです。

POINT 2 負債は、前期末と比べ31億64百万円増加し、344億7百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が減少しましたが、四日市合成(株)を持分法適用関連会社から新たに連結の範囲に含めましたことや新規借入を行いましたことなどにより、支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金、並びに退職給付引当金が増加したことなどによるものです。

POINT 3 純資産は、前期末と比べ4億51百万円増加し、169億49百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払などにより利益剰余金は減少しましたが、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。また、自己資本比率は、前期末と比べて1.5ポイント悪化し31.4%となりました。



暮らしの中で役立つ当社グループの製品

当社グループの製品は、暮らしの中でさまざまな製品の素材や部材としてお役に立っています。たとえば……



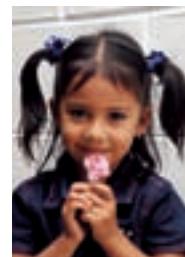
環境関連では、スーパーフレックスやDKポリオールなどの製品が環境への負荷低減などに活躍しております。



エネルギー関連では、導電性ペーストなどの製品が太陽電池などのクリーンエネルギー源に貢献しています。



電子材料関連では、ニューフロンティアやエイムフレックスなどの製品がディスプレイ部材や電子基盤などの技術革新をサポートしています。



生活資材関連では、セロゲンやDKエステルなどの製品が食品、医薬・化粧品、介護、ヘルスケアなど私たちの生活を取り巻く分野で幅広く使用されています。

太陽電池用シリコンウェハ洗浄剤

太陽電池用導電性ペースト

断熱材用硬質ウレタンフォーム
<DKポリオール>

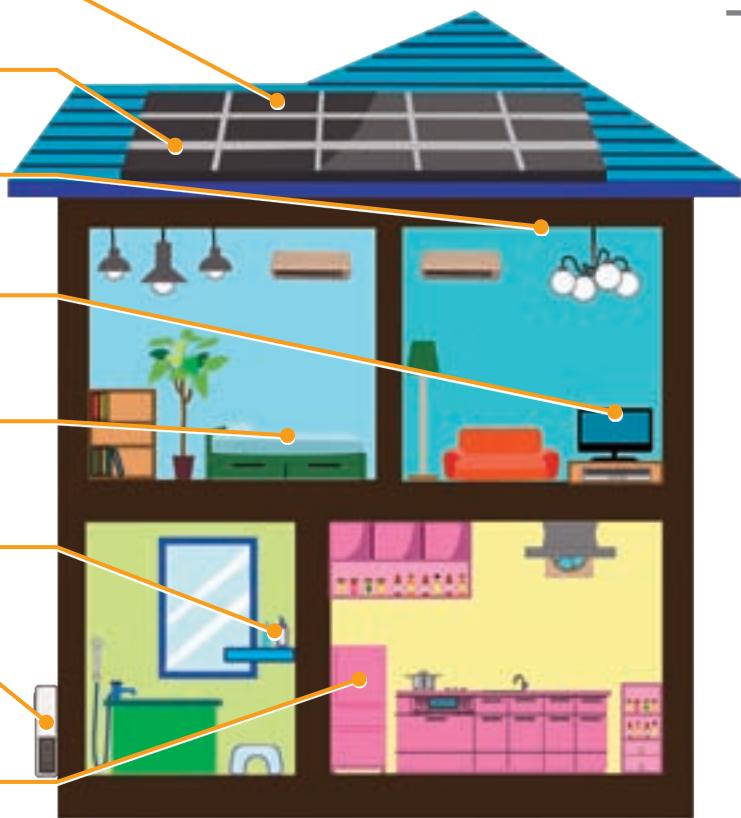
光学フィルム用プライマー
(光硬化樹脂)
<ニューフロンティア>

ベッド、クッション
(軟質、半硬質ウレタンフォーム)

化粧品用原料
<カチオーゲン>
<セロゲン>

電気絶縁用封止剤
<エイムフレックス>

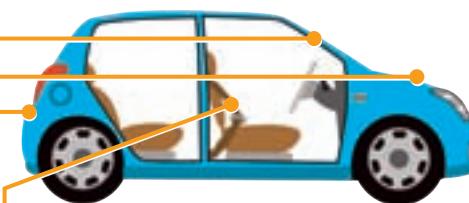
食品添加剤
<DKエステル>



流出油処理剤
<シークル>

クリーニング用洗剤・助剤
リネンサプライ用洗剤・助剤

光ファイバーコネクター



自動車用シートベルト
<エラストロン>

自動車用塗料樹脂
<スーパーフレックス>

HV用電装部品
(耐久性ウレタン樹脂)
<エイムフレックス>

自動車用内装表皮材
<スーパーフレックス>

『チェンジ100計画』、ステージⅡ — 収益を伴う拡大 —

当社グループは、本年4月から新中期経営計画『チェンジ100計画』、ステージⅡ — 収益を伴う拡大 — をスタートさせました。

1 経営ビジョン

『工業用薬剤のトップ企業として時代を先取り』し、社は『産業を通じて、国家・社会に貢献する』を実現します。プロダクト・イノベーションを担い、グローバル時代を生き抜きます。世界の潮流を読み取り、『品質第一、原価逡減、研究努力』の社訓に沿い、存続と成長の道を歩みます。

先進国という成熟社会にあって地球環境の浄化維持、再生可能あるいは自然エネルギーへの転換分野に照準をあてます。新興国という途上社会を見つめ中核である中国、インド、アセアン諸国に近い地理的条件に商機を求めます。

当社の持つ開発力と技術のソリューションを基に、『こたえる、化学』、京都から世界へ未来へ向かう一工像を実現します。



2

経営方針

ステージ I で確かにした事業内容の質を維持して拡大を進めます。

1) 事業周辺領域の拡大

「既存の製品、技術、顧客」領域の周辺を広げる横展開と深掘によって売上増加を図ります。

2) 国内生産拠点の充実と新生

新しい生産拠点の確保と充実に努め、拡大と成長の土台を築きます。

3) 新規事業の創生加速

将来の事業ポートフォリオのために、新規事業創生と設備投資を行います。

4) コスト削減の追求

徹底した生産性の向上と新コスト削減の活動を推進します。

5) マネジメント力の向上と人材育成

DKPM活動（DKS Productive Maintenance）を通じて人材を育成し、内外のマネジメント力の強化に注力します。

6) 海外展開の充実と管理の強化

中国、アジア地域の開発と管理を強化し、新展開の検討に着手します。

3

数値目標

市況変化による保有資産の目減りに耐えて、当期純利益を確実にする数値目標です。

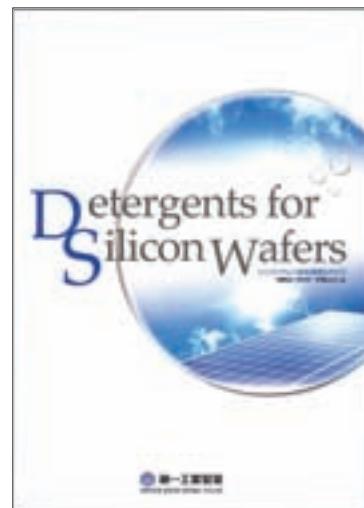
業績目標	2012年3月期（実績）	2015年3月期
連結売上高	562億円	750億円
連結営業利益率	3.6%	8%

会社の行程に「5W1Hプラス1」の視点を持って臨みます。Why（経営ビジョン）、What（経営方針）、そしてWhen（期間指標）の3年計画はホームページでお示ししました。Where（各部署）、Who（担当者）が、How（どのように）、How Much（いくら）を遂行し、目標の実現に努めます。

シリコンウェハ用洗浄剤を拡充

高性能水系洗浄剤で、長年にわたり電機・電子・精密機器、金属加工分野で幅広くご利用いただいていますDKビークリヤシリーズを、シリコンウェハ用洗浄剤カタログとしてまとめ、開発に注力しました。DKビークリヤCW-6830Eは、太陽電池用のシリコンウェハ切断後の粗洗浄工程に最適化された洗浄剤で、シリコンウェハ隙間の汚れを効果的に除去でき、高品質なシリコンウェハを実現します。さらに、新製品として仕上げ洗浄工程に最適化し、優れた洗浄能力を有したアルカリ洗浄剤、DKビークリヤCW-1850Eもラインアップに加えました。今後も当社は、新機能をもったDKビークリヤシリーズを拡充し、シリコンウェハ用洗浄剤として市場拡大をめざします。

シリコンウェハ用
洗浄剤カタログ



株式会社すざく^{みち}路を設立、化粧品の開発販売を開始



新商品
スクロス・マイルド
ウォッシングジェル

1970年から食品・化粧品分野で培ったシヨ糖脂肪酸エステル^①の技術と知見を活かし、2012年4月から洗顔料の販売を開始しました。これを機に化粧品分野での事業拡大をめざしていきます。

京都の四方の守り神である玄武、朱雀、白虎、青龍の一つ「朱雀」に由来する社名には、京都らしいやわらかな印象と、やさしさや癒しを感じる、ほっと安らぐ商品を作りたいという想いを込めています。新商品のスクロス・マイルドウォッシングジェルは、低刺激で安全性の高い洗浄成分としてシヨ糖脂肪酸エステルを配合しており、洗顔しながらマッサージすることで、お肌の血流を良くしてターンオーバーを整えます。この商品はすざく路のホームページにて、ご購入できます。

ホームページ ▶ <http://www.suzaku-michi.com/>

■ 取締役、監査役、執行役員

(平成24年6月26日現在)

役 職	氏 名	役 職	氏 名
代表取締役 社長執行役員	大柳雅利	取締役上席執行役員	浦山 勇
		取締役上席執行役員	本庄 秀一
代表取締役 副社長執行役員	坂本隆司	取締役上席執行役員	赤瀬 宜伸
		取締役上席執行役員	池田 克己
取締役常務執行役員	松本和久	取締役(社外取締役)	糸長 丈秀
取締役常務執行役員	蛭子博幸	取締役(社外取締役)	本間 義昭
常勤監査役	鈴木直文	監査役(社外監査役)	井手 秀彦
常勤監査役	関口 恒	監査役(社外監査役)	勝田 純一
執行役員	藤岡敏式	執行役員	角 英行
執行役員	大西英明	執行役員	村上 修
執行役員	河野通之	執行役員	岡本修身

■ 事業所

名 称	所 在 地	TEL	FAX
本 店	〒600-8873 京都市下京区西七条東久保町55		
本 社	〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5	075-323-5911	075-326-7356
東 京 支 社	〒104-0031 東京都中央区京橋1-3-1 八重洲口大栄ビル8階	03-3275-0561	03-3275-0593
大 阪 支 社	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-2-16 大阪朝日生命館2階	06-6229-1717	06-6229-1793
名古屋支店	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル7階	052-571-6331	052-586-4539
九 州 支 店	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-3 博多駅前第1ビル4階	092-472-6353	092-472-4989
研 究 所	〒601-8391 京都市南区吉祥院大河原町5	075-323-5911	075-326-7356
四日市事業所	〒510-0051 三重県四日市市千歳町7	059-352-3191	059-352-3195
大湊事業所	〒949-3116 新潟県上越市大湊区犀湊230	025-534-2811	025-534-2606
滋賀事業所	〒529-1403 滋賀県東近江市五個荘日吉町427	0748-48-3131	0748-48-3128

株主メモ

創 業 年 月 明治42年4月 (1909年4月)
設 立 年 月 大正7年8月 (1918年8月)
事 業 年 度 4月1日から3月31日まで
定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬
配 当 期 期末配当金受領株主確定日 3月31日、中間配当金受領株主確定日 9月30日
基 準 日 毎年3月31日、その他必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
単 元 株 式 数 1,000株
発 行 可 能 株 式 総 数 102,110,000株 (平成24年3月31日現在)
発 行 済 株 式 総 数 43,421,609株 (平成24年3月31日現在)
株 主 数 6,396名 (平成24年3月31日現在)
株 主 名 簿 管 理 人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行(株)
郵 便 物 送 付 先 (お問い合わせ先)

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行(株) 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほインベスターズ証券(株) 本店および全国各支店 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行(株) 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(株) 本店および全国各支店 (株)みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほインベスターズ証券(株)では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座 の場合」の郵便物送付先・電話お問い合 せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売 買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振 替手続を行っていただく必要があります。 みずほインベスターズ証券(株)で単元未満株式の買増請求 手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行(株)が指定す る口座に送金していただく必要があります。

公 告 の 方 法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL (<http://www.dks-web.co.jp>)

上 場 取 引 所 東京証券取引所 (証券コード 4461)

第一工業製薬株式会社

京都市南区吉祥院大原町5 〒601-8391
TEL 075-323-5911 FAX 075-326-7356
<http://www.dks-web.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

